



出雲市水道工事参考資料

出雲市水道事業



令和 5 年（2023）10 月 1 日

目次

第1章	設計照査について	3
第1節	設計図書の照査に係わる規定について	3
第2節	法線立会について	3
第3節	法線立会のフローチャートについて	3
第2章	施工計画書について	5
第1節	一般事項	5
第2節	変更施工計画書	6
第3節	詳細施工計画書	6
第3章	完成図書について	7
第1節	一般事項	7
第2節	CAD・写真データについて	8
第3節	CAD データに関する取扱い	8
第4章	出雲市水道工事検査事項について	13
第5章	水道工事材料について	14
第1節	適用	14
第2節	一般事項	14
第3節	材料立会	14
第4節	材料の保管	14
第5節	材料の納入	15
第6節	継手の材料	15
第6章	一括承認について	16
第1節	趣旨	16
第2節	一括承認手続きの流れ	16

- 別紙 1 変更施工計画書提出項目
- 別紙 2 品質管理一覧表
- 別紙 3 平面図、縦断面図、横断面図、配管詳細図、管割図（見本）
- 別紙 4 既設管廃止図（見本）

追加加除整理一覧表

- 第 1 版 令和 4 年（2022）10 月 1 日
- 第 2 版 令和 5 年（2023）10 月 1 日

第1章 設計照査について

第1節 設計図書の照査に係わる規定について

出雲市建設工事請負契約約款及び島根県公共工事共通仕様書に基づいて設計図書の照査を受注者の負担で実施しなければなりません。

(参考)

出雲市建設工事請負契約約款

第19条(条件変更等)

島根県公共工事共通仕様書

第1編 共通編 第1章 総則 第1節 総則 1-1-3 設計図書の照査等

第2節 法線立会について

法線立会は設計図書の照査の一部です。

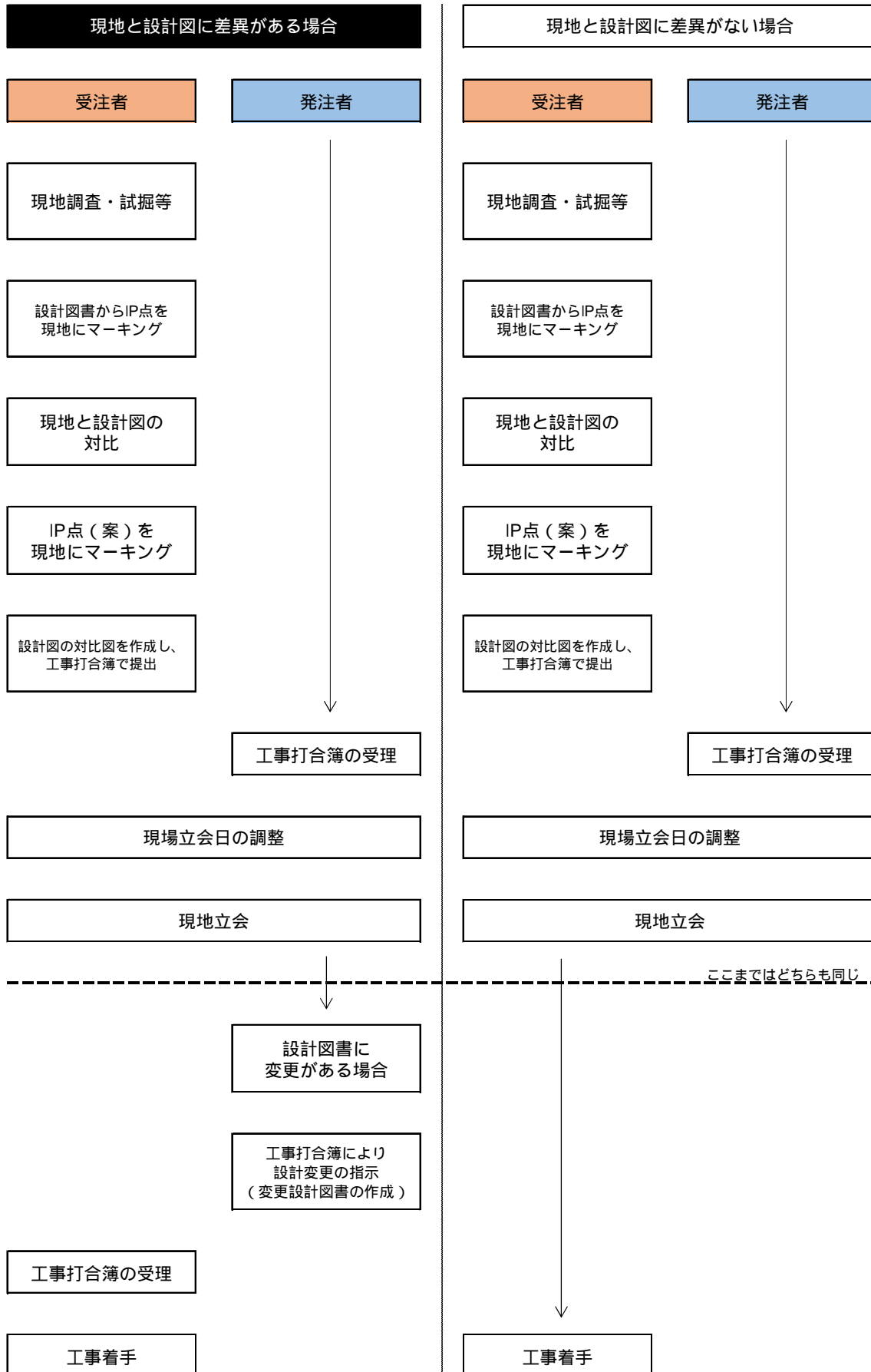
したがって、受注者が確認できる資料を書面により提出したのちに、発注者側監督職員が立会いをおこないます。

この結果により、延長等の増減があった場合は設計変更の対象とします。(給水装置も含まれます。)

第3節 法線立会のフローチャートについて

第1節、第2節をふまえたフローチャートは次頁のとおりです。

法線立会のフローチャート



第2章 施工計画書について

第1節 一般事項

受注者は、施工計画書に次の事項を記載してください。

また、監督職員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記してください。

ただし、受注者は維持工事等簡易な工事においては監督職員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができます。

- (1) 工事概要
- (2) 計画工程表
- (3) 現場組織表 1
- (4) 指定機械
- (5) 主要船舶・機械
- (6) 主要資材
- (7) 施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）
- (8) 施工管理計画 2
- (9) 段階確認
- (10) 安全管理
- (11) 安全・訓練の活動計画
- (12) 緊急時の体制及び対応
- (13) 交通管理
- (14) 環境対策
- (15) 現場作業環境の整備
- (16) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
- (17) イメージアップの実施内容
- (18) その他

- 1 資格要件がある場合は、資格を有することを証明する資料を添付してください。
- 2 施工管理計画で必要のない確認検査事項は記載しないでください。

第 2 節 変更施工計画書

受注者は、施工計画書の内容に重要な変更が生じた場合には、その都度当該工事に着手する前に変更に関する事項について、変更施工計画書を監督職員に提出しなければなりません。

変更施工計画書の提出が必要となる項目については、別紙 1 を参考としてください。

第 3 節 詳細施工計画書

受注者は、施工計画書を提出した際、監督職員が指示した事項について、さらに詳細な施工計画書を提出しなければなりません。

第3章 完成図書について

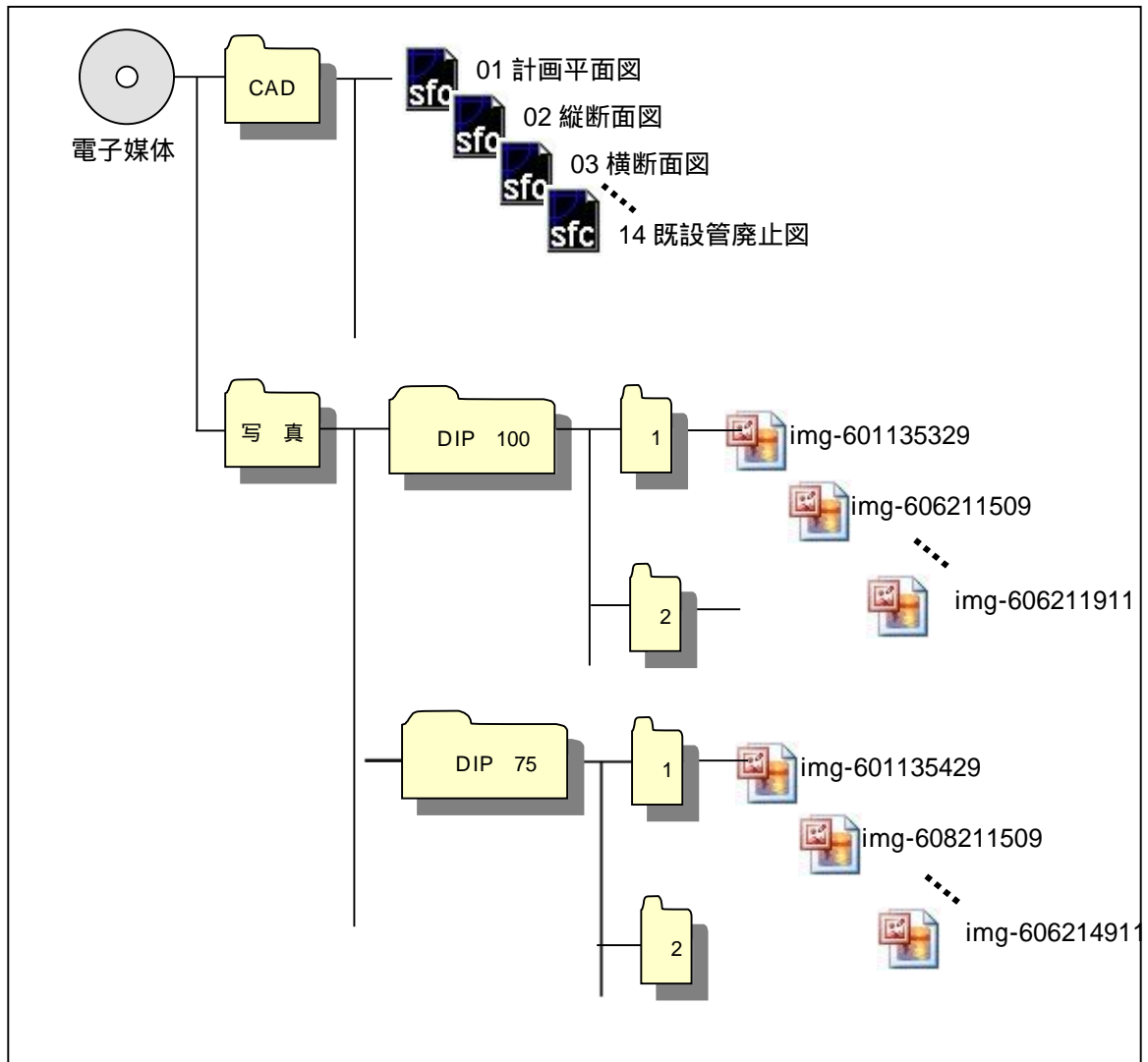
第1節 一般事項

受注者は、完成図書として以下の書類を一括ファイルし、1部提出しなければなりません。

1	表紙	・令和 年度 「完成図書」 工事名 工期 受注者名
2	工事概要	
3	位置図	
4	占用許可証の写し	・工事着手前に監督職員からもらったものを添付すること。
5	工事日報	・必ず横断図を記載し、埋設深、他の構造物との位置関係が分かるようにすること。 ・工事で申請した地下埋設者間協議書（写し）資料一式を添付すること。
6	工事完成図	・撤去済の仮設構造物は記載しないこと。 ・色・線種・線幅は次頁 CAD データに関する取扱いに基づくこと。
7	管割図	・工事完成図の配管詳細図に管割を記載しない場合は添付すること。
8	工事写真	・写真管理基準に基づくこと。 ・各路線施工順に綴ること。
9	出来形管理	
10	品質管理	・品質管理一覧表を添付すること。（別紙2参照）
11	制水弁台帳	・永久構造物からのオフセットをとること。（永久構造物から取れない場合は座標により管理すること。）
12	管位置図	・配水している管のみを記載すること。 ・永久構造物からのオフセットをとること。（永久構造物から取れない場合は座標により管理すること。） ・変化点（IP点）ごとにオフセットをとること。 ・埋設深を記載すること。 ・既設管残置の管位置図は、6の工事完成図に記載すること。
13	給水台帳	・2部作成し、1部はボール紙で提出し、1部を完成図書に添付すること。 ・図面作成のルールは給水装置工事ハンドブック（令和4年8月）によること。
14	材料納入集計表	・材料の納品書（写し）も添付すること。
15	CAD・写真データ	・電子媒体（CD-RまたはDVD-R）とすること。

第2節 CAD・写真データについて

CAD・写真データは電子媒体（CD-R または DVD-R）で1部提出します。
格納方法は次図のとおりとします。



写真データは JPEG とし、データ名は任意で構いません。

第3節 CAD データに関する取扱い

図面の大きさは、A 1・A 2 サイズを標準とします。ファイル形式は、SXF (SFC) 形式とします。

1. レイヤ

レイヤについては、次表に示すものを標準とします。レイヤを追加することは問題ありませんが、必要以上にレイヤ分けを行わないでください。

受注者の CAD ソフトの仕様により次表のレイヤ分けができない場合は監督職員と

協議してレイヤを取り決めてください。

2. 線種・線色・線幅

(1) 平面図、縦断図、横断図、配管詳細図、管割図、土工図について(参考 別紙 3)

線種・線色・線幅については、原則次表のとおりとしてください。

	名称	平面図の見本	レイヤ名称		色			線種	線幅	製図内容
					R	G	B			
1	上水 新設管		水STR-Honkan	赤	255	0	0	実線	極太線(0.500 mm)	計画水道管
2	給水 新設管 (△は量水器)		水STR-Kyusui	赤	255	0	0	実線	極太線(0.500 mm)	計画給水管
3	上水 仮配管		水STR-Kasetu	緑	0	255	0	実線	太線(0.250 mm)	仮配管
4	上水 既設管		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	実線	太線(0.250 mm)	既設水道管
5	上水 既設管廃止		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	破線	太線(0.250 mm)	既設水道管
6	給水 既設管 (△は量水器)		水BGD-Kyusui	水	0	255	255	実線	太線(0.250 mm)	既設給水管
7	給水 既設管廃止 (△は量水器)		水BGD-Kyusui	水	0	255	255	破線	太線(0.250 mm)	既設給水管
8	給水 枝番	⑤-2	水HTXT-給水枝番	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	給水枝番
9	給水 所有者	山田 太郎	水BGD-Name	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	個人名
10	給水 水栓番号	23118	水HTXT-水栓番号	赤	255	0	0	実線	細線(0.130 mm)	水栓番号
11	給水 既設メーター番号	A202771	水BGD-MeterNo	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	メータ番号
12	用地境界		水BMK	橙	255	128	0	実線	細線(0.130 mm)	用地境界
13	寸法・旗上げ		水HTXT	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	寸法・旗上げ
14	材料表	GX形直管S種φ100	水MTR	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	材料表
15	下水影響範囲		水WORK-下水影響線	桃	255	0	255	実線	細線(0.130 mm)	下水影響範囲
16	土工断面等		水STR-Dokou	白(黒)	255	255	255	実線	太線(0.250 mm)	土工断面等
17	外枠・区切線・文字列等		水TTL	白(黒)	255	255	255	実線	太線(0.250 mm)	外枠・区切線・文字列等

【注意】白や黒色は白黒印刷時に背景色の色により線色が反転するか確認してください。

(2) 既設管廃止図について（参考 別紙 4）

	名称	既設管廃止図の見本	レイヤ名称		色			線種	線幅	製図内容
					R	G	B			
1	上水 既設管		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	実線	太線(0.250 mm)	既設水道管
2	上水 既設管撤去		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	破線	太線(0.250 mm)	既設水道管
3	上水 既設管残置		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	破線	太線(0.250 mm)	既設水道管
4	給水 既設管 (△は量水器)		水BGD-Kyusui	水	0	255	255	実線	太線(0.250 mm)	既設給水管
5	残置区間・旗上げ		水HTXT	赤	255	0	0	実線	細線(0.130 mm)	残置区間・旗上げ

【注意】白や黒色は白黒印刷時に背景色の色により線色が反転するか確認してください。

3. 文字

フォントは、ゴシック（文字化けが少ない）を基本とし、一般的なものを使用してください。利用者が独自に作成した外字は使用不可とし、サイズは、A 3 など縮小版で紙出力した場合でも読めるサイズを使用するなど、工夫して選択してください。
ただし、縮小するためだけに A3 用の図面を作成する必要はなく、単に A1 から 50%縮小の A3 とします。

4. 弁類等

平面図の仕切弁、止水弁、量水器、消火栓、空気弁はノンスケールとし、縮小版で紙出力した場合でも読めるサイズにしてください。

5. 管種の表示記号について

平面図・配管詳細図の旗上げの管種の表示記号は次表のとおりとします。

配管詳細図・管割図の材料表示には管種の仕様(DIP.GX など)を記載してください。

ア 配水管		
a	水道用塗覆装鋼管	STW
b	铸铁管	
i	普通・高級铸铁管	CIP
	普通・高級铸铁管(メカニカルA形)	CIP.A
	普通・高級铸铁管(ソケット継手)	CIP.C
ii	水道用ダクタイル铸铁管	DIP
	水道用ダクタイル铸铁管(A形)	DIP.A
	水道用ダクタイル铸铁管(T形)	DIP.T
	水道用ダクタイル铸铁管(K形)	DIP.K
	水道用ダクタイル铸铁管(KF形)	DIP.KF
	水道用ダクタイル铸铁管(NS形)	DIP.NS
	水道用ダクタイル铸铁管(GX形)	DIP.GX
	水道用ダクタイル铸铁管(S形)	DIP.S
	水道用ダクタイル铸铁管(S形)	DIP.S
	水道用ダクタイル铸铁管(U形)	DIP.U
	水道用ダクタイル铸铁管(UF形)	DIP.UF
c	水道用硬質塩化ビニル管	
i	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	VP
ii	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP
d	水道用ポリエチレン管	
i	水道配水管用ポリエチレン管	HPPE
	水道用高密度ポリエチレン管	HDPE
	水道用ポリエチレン管(二層管)	PE
e	水道用ステンレス鋼管	SSP
f	石綿セメント管	ACP

イ 給水管		
a	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	VP
	水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	HIVP
b	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	SGP-VB
c	水配管用亜鉛メッキ鋼管	SGPW
d	鋼管	CP
e	水道用ポリエチレン管(二層管)	PE

第4章 出雲市水道工事検査事項について

出雲市水道工事の検査について、「島根県工事成績評定要領」に準じ行います。

詳細については、島根県ホームページの下記アドレスより確認ください。

島根県 HP アドレス

www.pref.shimane.lg.jp/infra/kouji/kouji_info/hin/seiseki.html

第5章 水道工事材料について

第1節 適用

工事に使用する材料は、設計図書に品質規格を特に明示した場合を除き、日本工業規格（以下「JIS」という）、日本農林規格（以下「JAS」という）、日本水道協会規格（以下「JWWA」という）及び島根県公共工事共通仕様書に示す規格に適合したもの、又はこれと同等以上の品質を有するものとします。

ただし、監督職員が承諾した材料及び設計図書に明示されていない仮設材料については除くものとします。

第2節 一般事項

受注者は、工事に使用する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を施工計画書に添付し監督職員へ提出してください。

なお、発注者が予め一括承認した材料については、「製品名、規格、会社名、承認番号」を記載することで、品質規格証明書の添付は不要とします。

ただし、島根県公共工事共通仕様書で規定された「受注者は、工事に使用した材料の品質を証明する品質規格証明書を受注者の責任において整備、保管しなければならない。」について省略するものではありません。監督職員又は検査職員の請求があった場合は速やかに提示できるよう、作成後5年間保管してください。

第3節 材料立会

受注者は、工事に使用する材料が施工計画書に記載されたものと相違ないか、使用前に監督職員の立会を受けてください。

第4節 材料の保管

受注者は、工事材料を使用するまでにその材質に変質が生じないように、保管してください。

なお、材質の変質により工事材料の使用が、不適当と監督職員から指示された場合には、これを取り替えるとともに、新たに搬入する材料については再度立会を受けてください。

第5節 材料の納入

納品伝票は工事で使用した材料の使用量、使用時期と納入時期との関係等を確認するために必要な資料です。材料納入集計表とともにその写しを完成図書に添付してください。

第6節 継手の材料

ボルト及びナット類については、公益法人日本水道協会の検査基準を満たしたものを使用してください。

第6章 一括承認について

第1節 趣旨

使用頻度の高い材料については、予め発注者がこれらを一括承認します。工事毎の材料承認事務手続きの簡素化を図ることを目的とするものであり、材料の指定を行うものではありません。

第2節 一括承認手続きの流れ

一括承認手続きの流れは以下の通りです。

発注者が製造会社等から一括承認の申請を受け付け、審査のうえ承認します。

発注者は審査の結果を申請者へ通知するとともに、承認番号を付しホームページ等で公表します。

変更施工計画書提出項目の簡素化について

出雲市水道工事では、次の項目に変更が生じる場合について変更施工計画書を提出してください。

施工計画書記載項目	変更 施工計画書	備 考（項目別記載事項）
（１）工事概要	×	工事名・工事場所・工期、請負金額、発注者、受注者、工事内容、位置図、一般平面図、標準横断図等
（２）計画工程表	○	ネットワーク式・バーチャート式等で作成
（３）現場組織表		現場組織、編成、命令系統、業務分担 継手部接合工の資格者証（写し）
（４）指定機械	×	設計図書で指定されている機械（騒音振動、排ガス規制、標準操作等） 監督員が必要と認めた機械
（５）主要船舶・機械	×	設計図書で指定されている機械（騒音振動、排ガス規制、標準操作等） 以外の主要な船舶・機械
（６）主要資材		指定材料及び主要材料、材料試験方法、品質証明書等、事前承認チェックリスト（水道）
（７）施工方法（主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む）	○	主要工種毎の作業フロー、施工方法、使用機械、仮設備の構造配置、仮設建物（現場事務所等） 材料、機械等の仮置き場、工事施工に必要なプラント等の機械設備、運搬路（仮道路等）、仮排水、安全管理に関する仮設備（工事看板等）
（８）施工管理計画	○	工程管理（実施工程の手法・管理方法） 品質管理（品質管理計画表） 出来形管理（出来形管理計画表） 写真管理（写真管理計画表）
（９）段階確認		段階確認計画表
（１０）安全管理	○	安全管理体制、工事安全管理対策、第三者施設安全管理対策、安全巡視の実施方法、安全活動方針
（１１）安全・訓練の活動計画	×	安全訓練の実施方法
（１２）緊急時の体制及び対応	○	事故発生時の連絡系統図、対応策 災害発生時の体制 異常気象時の防災対策
（１３）交通管理	○	交通管理、交通処理、迂回路図（安全施設・看板・誘導員）過積載防止
（１４）環境対策	○	大気汚染・水質汚染・振動・騒音対策、産廃の対応
（１５）現場作業環境の整備	×	現場作業環境に関する仮設、安全、営繕対策
（１６）再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法	○	再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書、指定副産物搬出計画（マニフェスト等）
（１７）現場環境改善の実施内容	×	イメージアップの実施計画（仮設備関係・営繕関係・安全関係・地域連携）等
（１８）その他		関係機関との手続き（警察・官公庁等）地元周知・休日 創意工夫・工事特性・社会性等

- 変更計画書の提出が必要な項目
○ 場合により変更施工計画書の提出が必要な項目
× 変更施工計画書の提出が不要な項目

補足事項

- （３）現場組織表について、受注者の組織（下請業者は含まず）及び継手部接合工資格者に変更が生じた場合は提出すること。
- （６）主要資材については、新たな資材が追加となる場合は、追加分を提出すること。（数量の増減によるものについては提出不要）
- （９）工種の追加等に伴い、新たな段階確認が必要となる場合は提出すること。
- （１８）創意工夫等を立案した場合に提出すること。

注意事項

変更施工計画書は、変更となる項目が生じた時点で、個々に工事打合せ簿で提出する。（変更施工計画書として製本する必要はない。）
変更内容の表示については、わかりやすくすること。（朱書き等）但し、当初施工計画書に対する見え消し等は不要。
工事評定に際して、変更施工計画書を求めない項目については、提出済とみなし採点する。

品質管理一覧表

別紙 2

工種	試験項目	測定日			規格値	測定値	立会者	合否	摘要
管布設工	材料外観検査	12月10日					山田太郎技師	合格	
	継手部接合検査							合格	チェックシートを提示
水圧試験	水圧試験	12月20日			0.65MPa ~ 0.75MPa	0.75MPa	山田太郎技師	合格	
	水圧試験 (不断水)	12月20日			0.65MPa ~ 0.75MPa	0.75MPa		合格	
	水圧試験 (給水装置 1 次側)	12月20日			1.05MPa以上	1.05MPa		合格	
	水圧試験 (給水装置 2 次側)	12月20日			1.75MPa以上	1.75MPa		合格	
通水準備工	管内清掃	12月20日			残存物がないこと		山田太郎技師	合格	ピッグ出し、洗管
	PH	1日目	12月24日	13:30	5.8 ~ 8.6	7.53	山田太郎技師	合格	
		2日目	12月25日	13:30	5.8 ~ 8.6	7.53	山田太郎技師	合格	
	遊離残留塩素	1日目	12月24日	13:30	0.1mg/ℓ以上	0.31mg/ℓ	山田太郎技師	合格	
		2日目	12月25日	13:30	0.1mg/ℓ以上 1昼夜経過後1/2以上残留	0.23mg/ℓ	山田太郎技師	合格	
	色、濁り	12月25日			無色透明であること		山田太郎技師	合格	

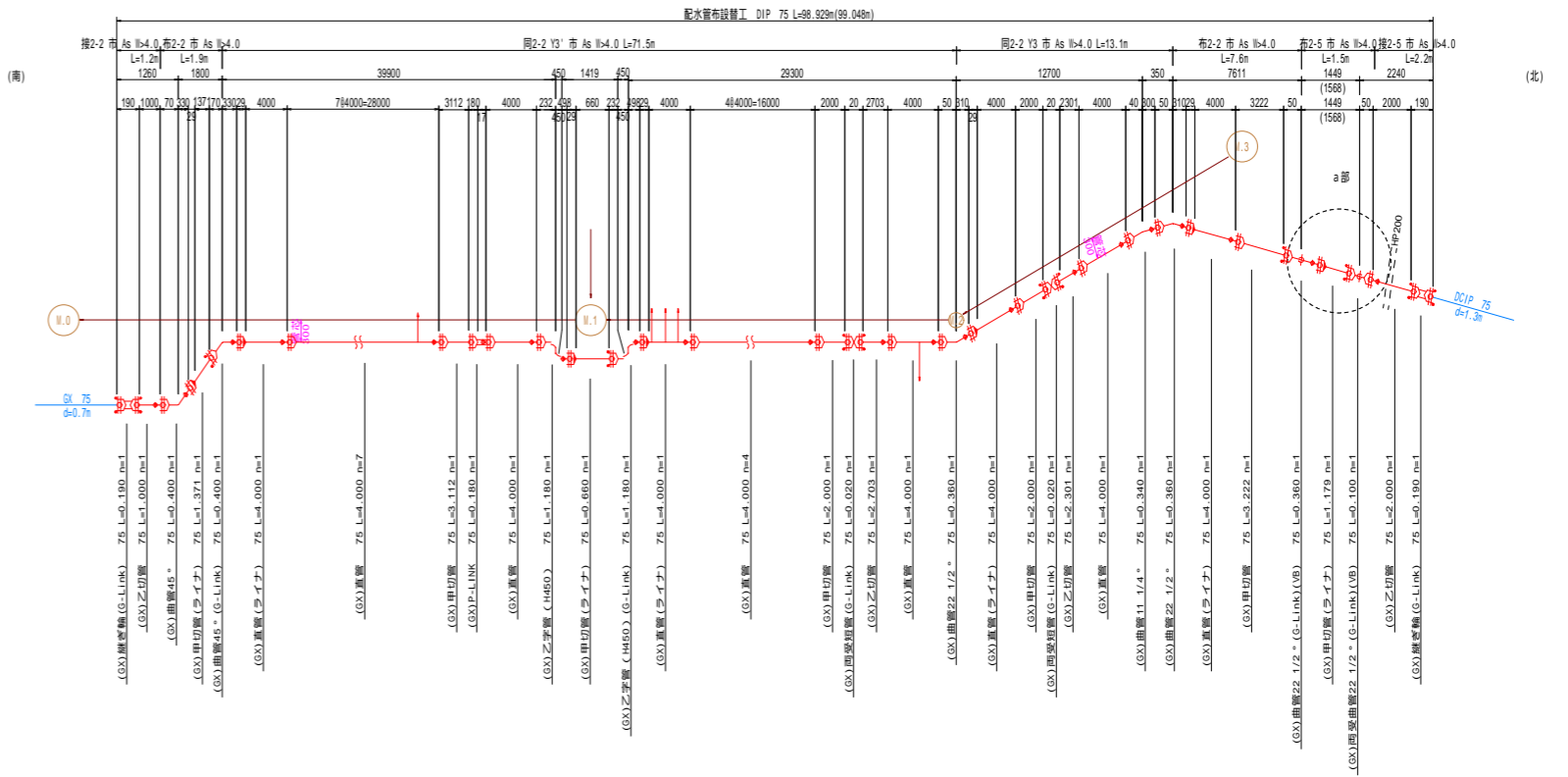
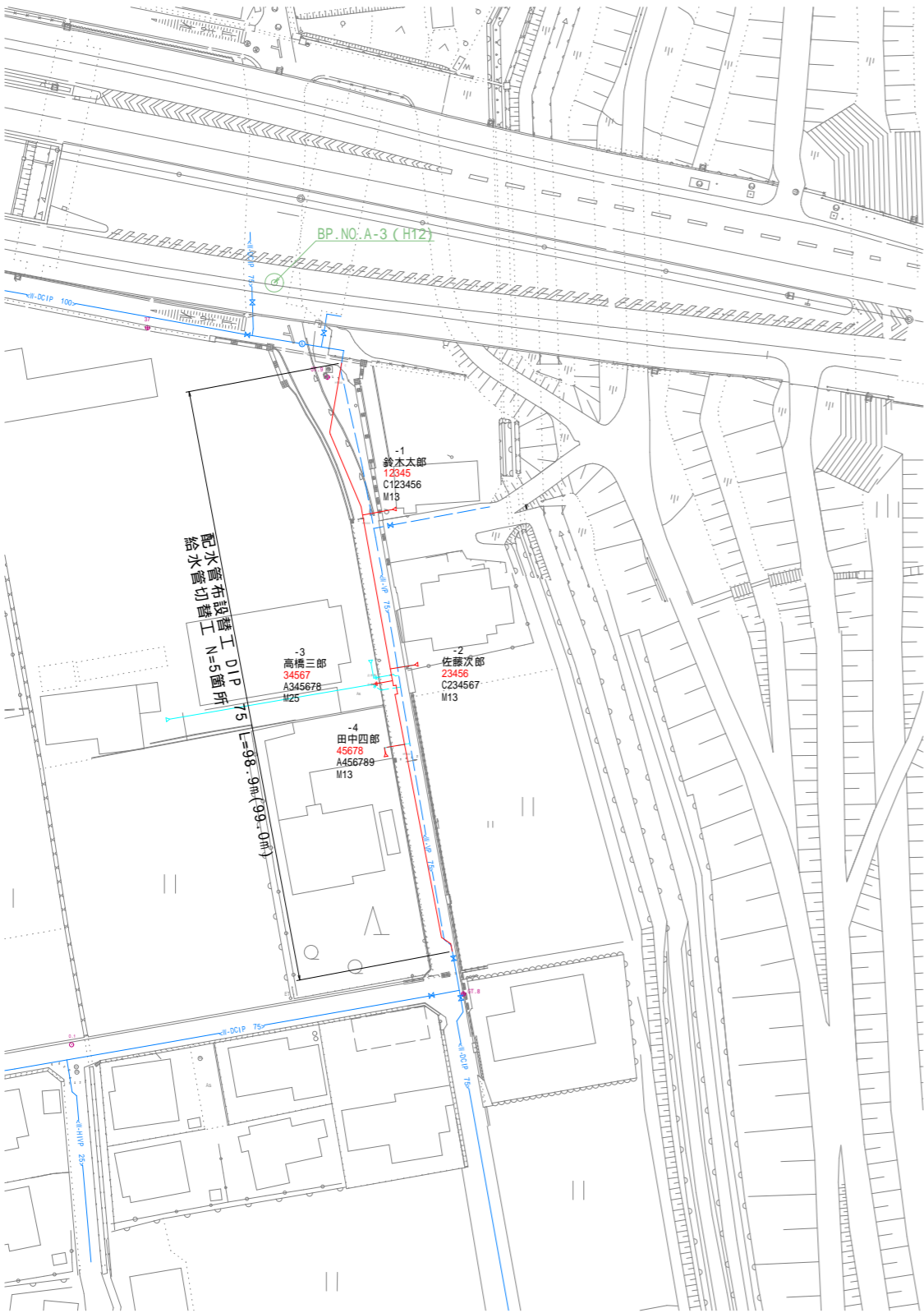
継手部接合検査のチェックシートは工事完了後5年間保存します。

配管詳細図













non scale

平面图

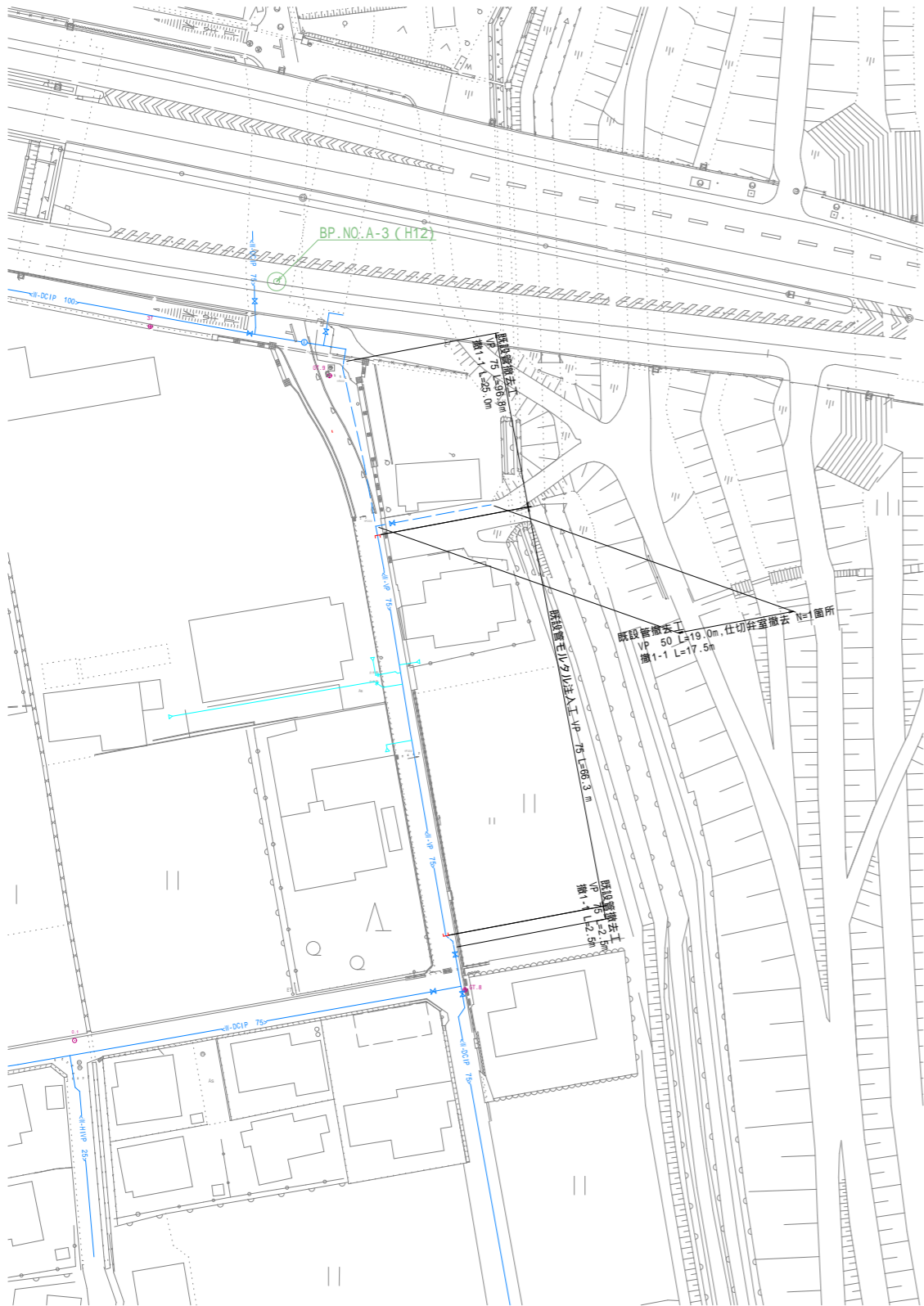
S = 1 : 5 0 0



平面図、縦断図、横断図、配管詳細図、管割図、土工図の凡例

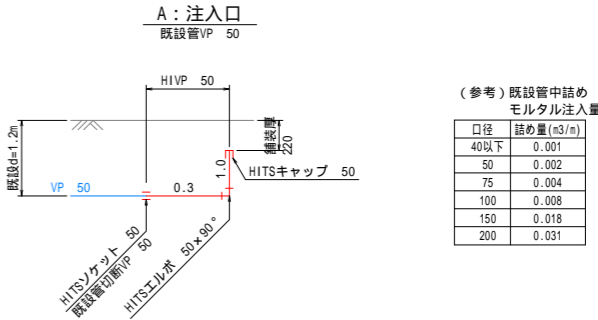
	名称	平面図の見本	レイヤ名称	色			線種	線幅	製図内容	
					R	G				B
1	上水 新設管		水STR-Honkan	赤	255	0	0	実線	極太線(0.500 mm)	計画水道管
2	給水 新設管 (は量水器)		水STR-Kyusui	赤	255	0	0	実線	極太線(0.500 mm)	計画給水管
3	上水 仮配管		水STR-Kasetu	緑	0	255	0	実線	太線(0.250 mm)	仮配管
4	上水 既設管		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	実線	太線(0.250 mm)	既設水道管
5	上水 既設管廃止		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	破線	太線(0.250 mm)	既設水道管
6	給水 既設管 (は量水器)		水BGD-Kyusui	水	0	255	255	実線	太線(0.250 mm)	既設給水管
7	給水 既設管廃止 (は量水器)		水BGD-Kyusui	水	0	255	255	破線	太線(0.250 mm)	既設給水管
8	給水 枝番	-2	水HTXT-給水枝番	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	給水枝番
9	給水 所有者	山田太郎	水BGD-Name	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	個人名
10	給水 水栓番号	23118	水HTXT-水栓番号	赤	255	0	0	実線	細線(0.130 mm)	水栓番号
11	給水 既設メーター番号	A202771	水BGD-MeterNo	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	メータ番号
12	用地境界		水BMK	橙	255	128	0	実線	細線(0.130 mm)	用地境界
13	寸法・旗上げ		水HTXT	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	寸法・旗上げ
14	材料表	GK形直管S種 100	水MTR	白(黒)	255	255	255	実線	細線(0.130 mm)	材料表
15	下水影響範囲		水WORK-下水影響線	桃	255	0	255	実線	細線(0.130 mm)	下水影響範囲
16	土工断面等		水STR-Dokou	白(黒)	255	255	255	実線	太線(0.250 mm)	土工断面等
17	外枠・区切線・文字列等		水TTL	白(黒)	255	255	255	実線	太線(0.250 mm)	外枠・区切線・文字列等

既設管廃止図 S = 1 : 5 0 0

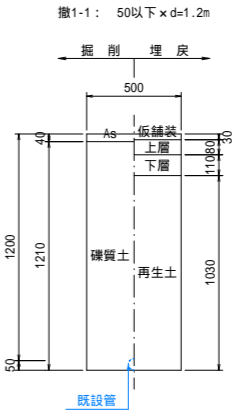


モルタル注入口標準図

特 記
・注入孔・確認孔の立上管は最低路盤下で切断しキャップ止めとすること








配管土工図 S=1:20



残置部分の
オフセット
埋設深
断面図
を記載してください

既設管廃止図の凡例

	名称	既設管廃止図の見本	レイヤ名称	色			線種	線幅	製図内容	
				R	G	B				
1	上水 既設管		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	実線	太線(0.250 mm)	既設水道管
2	上水 既設管撤去		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	破線	太線(0.250 mm)	既設水道管
3	上水 既設管残置		水BGD-Honkan	明青	0	128	255	破線	太線(0.250 mm)	既設水道管
4	給水 既設管 (は量水器)		水BGD-Kyusui	水	0	255	255	実線	太線(0.250 mm)	既設給水管
5	残置区間・旗上げ		水HTXT	赤	255	0	0	実線	細線(0.130 mm)	残置区間・旗上げ